

事業番号 2021 - 復興 - 20 - 0101

令和3年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	安全な木材製品等流通影響調査・検証事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者			
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 伊地知 英己			
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	食料安定供給関係				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質が飛散し、木材についても、放射性物質の影響が確認されている。一方、福島県産の林産物は、指針に基づく伐採・搬出の安全出荷基準の設定を行うなど放射線量は低く安全であり、林産物に対する正確な情報を把握することにより、消費者の理解を得ながら木材製品等に係る安全証明体制の構築を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	製材工場等での原木の受け入れから木材製品等の出荷までの工程を対象とした木材製品や作業環境などの放射性物質の継続調査・分析のほか、川上から川下までの木材製品等の流通調査・分析や県内の原木市場や製材工場等への放射性物質測定装置の導入等を支援する。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	704	102	102	91	91		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		704	102	102	91	91		
	執行額		704	102	102				
執行率 (%)		100%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		100%	100%	100%					
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	林産物供給等復興事業費補助金	91	91	-					
	計	91	91						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度
	福島県内で流通している木材の安全検査捕捉率を令和7年度に90%にする。	福島県内流通木材の安全検査捕捉率 (放射性物質測定装置による安全検査を実施した木材量/福島県内で流通している木材量)	成果実績	%	84.5	82.3	82.3	-	-
			目標値	%	-	-	-	85	90
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	業務資料(林野庁)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度
	福島県の木材価格(スギ中丸太)を全国平均並にする。	全国平均の木材価格と比較した福島県の木材価格の割合	成果実績	円	11,617	11,508	11,308	-	-
			目標値	円	13,575	13,458	12,683	-	-
			達成度	%	86	86	89	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「木材統計調査」(農林水産省大臣官房統計部)								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 5年度	目標最終年度 7年度	
	福島県の素材(丸太)生産量を令和7年度に平成23年度の140%にする。	福島県における素材生産量の増加率(平成23年度と比較した素材生産量の増加率/目標値)		成果実績	%	135	131	134	-
		目標値	%	120	120	120	-	140	
		達成度	%	113	109	112	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「木材統計調査」(農林水産省大臣官房統計部)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	木材の安全確保対策等事業の事業数		活動実績	件	1	1	1	-	-
		当初見込み	件	1	1	1	1		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	福島県における放射性物質自動検知(測定)装置の設置数		活動実績	台	26	1	3	-	-
		当初見込み	台	28	2	2	1	2	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	研修会の開催件数		活動実績	件	1	0	0	-	-
		当初見込み	件	3	1	1	1	1	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	PR活動(イベント等)の件数		活動実績	件	6	9	8	-	-
		当初見込み	件	5	9	5	5	3	
単位当たり コスト	算出根拠	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
	執行額のうち技術開発、流通調査、装置設置に要した経費/放射性物質測定装置の設置台数		単位当たりコスト	百万円	25	70	41	38	
		計算式	執行額/設置台数	25.3百万円/台	70百万円/1台	40.5百万円/台	37.5百万円/台		
政策評価、 新経済・財政再生計画との関係	政策	5 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な展開							
	施策	① 林産物の供給及び利用の確保							
	測定指標	定量的指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度	
				実績値	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
本事業により福島県産材の安全性・信頼性を向上させることで「ふくしま森林再生事業」の本格化や避難指示区域での林業生産の再開等、林業・木材産業の活性化につながり、林産物の供給及び利用の確保に資するものである。									
新経済・財政再生計画との関係	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 -年度	2年度	3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
				成果実績	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 -年度	2年度	3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
				成果実績	-	-	-	-	-
		目標値		-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	福島県からの強い要望により、製材工場等の事業の安定化等を行う事業であり、被災地からのニーズを十分に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「復興・創生期間」後における東日本大震災からの復興の基本方針において、政府は被災地の復興に向けて総力を挙げて取り組むとしている。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	原子力発電所事故から一国も早い復興が求められており、地域の主要産業の一つである林業・木材産業の安定化は住民の雇用の場を確保していく上で、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業実施要綱・要領に基づき支出先を選定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	風評被害の払拭のための安全証明体制の構築という事業の性質上、全額国の負担としている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	単位当たりのコストは、適正に事業を執行する中、妥当な水準となっている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業執行に必要な支出に限定しており、中間段階で支出したものについても合理性について十分検証している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	資金の使途等については、実績報告書や完了検査を通じて事業目的に即し真に必要なものに限定されていることを確認している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	不用は発生していない。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	繰越は発生していない。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	検査装置の導入にあたり業者と単価交渉する等、コスト削減や効率化に向けた工夫をしている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	全体として、ほぼ目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、福島県及び木材産業等の専門的な知見を有する民間団体等が連携しながら、効率的かつ適切な事業実施がなされている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	全体として、ほぼ見込み同様となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	開発した検査装置については、福島県内の製材工場等に設定しデータを得るなど、十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、消費者に安全な木材製品等を供給するため、木材製品等の放射性物質の調査・分析を行うとともに、放射性物質測定装置の設置等により効率的な安全証明体制の構築を支援するものであり、事業実施県の要望も強く、優先度の高い事業である。	
	改善の方向性	各年度の放射性物質検査装置の設置先の精査を進めるとともに、引き続き、関係者と連携しながら、本事業により、木材製品等に係る安全証明体制の構築を推進することとしたい。	
外部有識者の所見			
対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	福島県等からの情報収集による的確なニーズの把握及び放射性物質の専門家の意見も踏まえ、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効率的・効果的な予算の執行に努めていく。		

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	0077			
平成25年度	0108			
平成26年度	0128			
平成27年度	0128			
平成28年度	0126			
平成29年度	0100			
平成30年度	0094			
令和元年度	復興庁 - 0098			
令和2年度	復興庁 - 0094			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



